

令和4年度～7年度大分県企業局経営戦略アクションプラン取組評価について
(外部評価調査)

外部評価調査書（R4年度～7年度 総合評価）

【1】全体評価

- 1) 『戦略の柱Ⅰの効率的・効果的な経営の実現』について
 ① 技術職員の資格取得件数についてはこの期間、継続して目標を上回っており、技術職員一人当たり研修受講数も毎年二桁で推移している。
 ② 先端技術の活用に関して、スマート保安の導入やドローンの活用などにより、デジタル技術の活用が計画に沿って進められており、保守業務の効率化や現場作業における費用の低減化が図られている。
 ③ 新規事業を含む事業展開に関しては、先進事例の調査研究を行いながら、事業性検討会を実施し、取り組みを進めているが、引き続き調査検討段階にある。
 ④ コストダウン・業務改善に向けた取組に関しては、特に情報共有システムの導入を進めることにより効率化を進め、その進捗は目標を大幅に上回っている。
 (2) 『戦略の柱Ⅱの安定的なサービスの提供』について
 ① サービスの安定的な供給を行うための発電所リニューアルについては、計画に基づき確実に進めることが出来、このうち別府発電所については令和7年5月より営業運転を開始しており、その他のリニューアル工事についても、その進捗状況は概ね計画どおりである。
 ② 工業用水道事業については、給水ネットワークを活用して計画どおりに隧道点検が実施され、点検が計画されていない年度については、その後の隧道点検に備えた準備が行われ、工業用水の安定供給を推進した。
 ③ 豪雨災害や今後発生が予想される巨大地震に備えて、発生時に迅速かつ確に対応できるよう防災訓練等を通じて危機管理体制の充実が図られるとともに、訓練等の実施後に評価や課題の検討が行われている。
 (3) 『戦略の柱Ⅲの地域社会への貢献、県民福祉の向上』について
 ダム流域との交流事業については、期間当初はコロナ等の影響もあり、目標回数を下回る年もあったが、その後回復して直近の年度は目標を達成している。環境保全活動などへの助成は計画以上に行われた。

【2】個別評価

大項目（戦略の柱）	内部評価					外部評価				総合外部評価			コメ ン ト
										S	A	B	
小項目（各目標指数）										I	II	III	
戦略の柱Ⅰ：効率的・効果的な経営の実現	R4	R5	R6	R7	総合	R4	R5	R6	R7	S	A	B	
(1) 共通事項													
1 環境変化に対応できる組織運営・人材育成													
【目標指標】 ・技術職員の資格取得件数 ・経営状況説明会の開催	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	II	III	
2 先端技術の活用による業務の効率化・高度化													
【目標指標】 ・スマート保安の試験的導入 ・スマート保安（遠隔監視等）検証	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	II	III	
3 新規事業を含む事業展開に向けた研究													
【目標指標】 ・事業性検討会の実施	II	II	I	I	II	II	II	I		I	II	III	
4 コストダウン・業務改善に向けた取組													
【目標指標】 ・情報共有システムの導入率 ・7setマシンの診断表更新回数 ・業務改善等に向けての取組	I	I	I	I	I	I	I	I		I	II	III	
(2) 電気事業													
1 電力システム改革に的確に対応することによる													
・売電入札の実施時期について、国や他県の動向などを注視しながら、長期的な観点で経営に及ぼす影響を考慮し、慎重に検討していく。	I	I	I	I	I	I	I	I		I	II	III	
(3) 工業用水道事業													
1 顧客本位の取組													
【目標指標】 ・ユーザー懇談会開催回数 ・現地案内開催回数 ・ユーザー訪問数	II	I	I	I	II	II	I	I		I	II	III	
2 新規顧客への対応													
・既存ユーザーとの情報交換などで常に使用実態やニーズを把握しながら、本県の工業用水の優位性を活かし、商工観光労働部など関係機関と連携して取り組んでいく。	I	I	I	I	I	I	I	I		I	II	III	

				内部評価					外部評価				総合外部評価			コメント		
戦略の柱Ⅱ：安定的なサービスの提供				R4	R5	R6	R7	総合	R4	R5	R6	R7	S	A	B			
(1) 共通事項																		
1 耐震化・老朽化対策の推進による電力と工業用水の安定供給																		
・発電所リニューアルの推進及び給水ネットワークを活用した隧道点検結果をもとに総合評価を行う。																		
2 危機管理体制の充実																		
【目標指標】 ・防災実動訓練 ・ダム管理演習 ・現場対応訓練 ・工水ユーザー企業との情報伝達訓練 ・相互応援協定に基づく情報伝達訓練																		
3 感染症リスクへの対応																		
・感染症リスクに備え、事業継続できるよう職員への感染拡大防止対策の徹底や業務体制の確保を図っていく。																		
(2) 電気事業																		
1 発電所リニューアルの推進 (再生可能エネルギーの導入拡大)																		
【目標指標】 ・別府発電所事業進捗率 ・芹川第一発電所事業進捗率 ・芹川第二発電所事業進捗率 ・桑原発電所事業進捗率																		
2 自然災害対策の計画的な実施																		
【目標指標】 ・既存施設（建物・水管橋）の耐震化率 ・既存施設（水路工作物）の耐震照査率																		
3 発電所のオーバーホール工事の実施																		
【目標指標】 ・オーバーホール工事実施件数																		発電所のオーバーホールの時期を見直し、戦略的延伸を選択することで、収益改善を図ろうと努力している。
4 その他、施設の適切な修繕・改良工事等の実施																		
【目標指標】 ・鉄塔改良・保全工事等実施件数 ・主要水路工作物修繕・改良工事実施件数 ・故障・作業停電電力量削減率																		
(3) 工業用水道事業																		
1 給水ネットワークを用いた隧道点検及び補修																		
【目標指標】 ・隧道点検実施箇所																		
2 自然災害対策の計画的な実施																		
【目標指標】 ・既存施設の耐震化率 ・ユーザー要求量に対する給水率 ・給水条例基準濁度での供給 ・浸水対策工事実施件数																		
3 浄水場の老朽化対策、老朽化管路の更新																		
【目標指標】 ・埋設管路調査 ・主要施設の修繕・改良工事（委託）実施件数																		
4 その他、施設の適切な修繕・改良工事等の実施																		
【目標指標】 ・主要設備更新工事実施件数 ・主要設備更新設計業務委託																		

				内部評価				外部評価				総合外部 評価	コ メ ン ト		
戦略の柱Ⅲ：地域社会への貢献、県民福祉の向上				R 4	R 5	R 6	R 7	総 合	R 4	R 5	R 6	R 7	S	A	B
(1) 共通事項															
1	地域貢献														
	【目標指標】 ・交流事業の回数 ・環境保全活動等への助成				Ⅲ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ
2	県政貢献														
	・利益の一部を一般会計へ繰り出し、県の重要施策の推進を支援することで、県政の発展に貢献する。				Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ
3	効果的な広報の実施														
	【目標指標】 ・施設見学の受入回数				Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ

※ページ番号は別冊「大分県企業局経営戦略アクションプラン 実施結果と総合評価」のページに対応